

# I. 平成23年度 執行方針

## 基本方針

(財)神奈川県スキー連盟の目標は、神奈川県民905万人の皆さんに広くスノースポーツの感動を伝えることでもあります。東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）の傷跡も癒えない状況の中、スノースポーツを通して心身の健康を取り戻し、明日の活力を生み出していただくことが私たちの使命であります。

この公益的な目標達成のために、新公益法人としての認可対応を進めるとともに、スノースポーツの素晴らしさを伝えられる組織体制、事業運営を推進いたします。厳しい状況はつづきますが、事業の「ダウンサイジング」「改革」は引き続き継続し、執行部一丸となり、難局を乗り越えて「スノースポーツに感謝と感動を」をビジョンに事業運営を進めてまいります。

### 1. 公益法人としての活動の充実・強化

- 1) 「新公益法人」の認可申請を行います。規約規定・財務諸表他についても順次移行を進めます。
- 2) 公益法人としての倫理を明確にするため、行動規範、利益相反などへの対応を行います。
- 3) 大会オープン参加、県民スクールの充実など、感動を広く伝える諸施策に取り組めます。
- 4) 障がい者へのサポート、県体協と連携し諸問題（環境・いじめなど）に取り組めます。

### 2. 財政の健全化

- 1) 資金の安定的運用を継続します。
- 2) 事業への効率的な役員配置やアウトソーシングの推進により支出削減に努めます。
- 3) 協賛会員の拡充を進め、冠スポンサーを引き続き募ります。
- 4) 賛助会員（青少年育成・ハンディキャップなど）の拡充に努めます。

### 3. 組織運営の充実・強化

- 1) 所属加盟団体との連携で減少傾向に変化が見えてきました。増加への諸施策に取り組めます。
- 2) 理事会の効率化と本部機能強化のため、権限の移譲を含め効率的な運営を行います。
- 3) スノースポーツの感動を伝える各種指導者の育成を積極的に行います。
- 4) 電子申込のトラブル対応を実施し積極的な利用拡大を行います。
- 5) 新事務所構想の検討を継続します。

### 4. 事業運営の改革

- 1) 参加者の安全に配慮した事業運営を行います。
- 2) 協賛制度を活用しながら、一部事業の公募、開催会場の見直しなど模索・充実して行きます。
- 3) 感動を伝えていくための、ホームページ、ツール、広報などの更なる充実に努めます。
- 4) 県総合体育大会の復活を祈念し、市町村対抗スキー競技会は継続実施します。

### 5. 指導員会、他団体との連携強化

- 1) 指導員会と連携して後援事業を行います。
- 2) 技術選、環富士技術選、南関東ブロック大会（ボードも含む）、シニア技術選は、他県連との連携を密にし、大会を盛り上げていきます。

### 6. 人材育成への取り組み

- 1) 役員の資質向上のため、行動規範やビジョンの共有などを行うセミナーなどを実施します。
- 2) 役員の運営能力や技術向上のため、各種運営セミナー、実技研修会を実施します。

## Ⅱ. 総務本部執行方針

スノースポーツに感動と感謝を多くの方に体験していただくために、普及・PR活動を推進します。引続き「財政の健全化」「会員サービスの向上」に努めます。

### 1. 新公益法人への移行活動について

- 1) 新公益法人会計基準に沿った運営、決算対応を継続しつつ、公益法人認定申請のために税理士事務所の支援により、本年度11月末申請予定に向けて移行準備を進めて参ります。
- 2) 公益法人のディスクロージャー、個人情報保護の実行を継続して徹底します。

### 2. 収支均衡予算案、税対応、長期財政の安定について

- 1) 収支均衡予算案とし、行事や協賛収入の増加策に努めます。
- 2) 基本財産・積立金等の運用を継続して進めます。
- 3) 連盟の活動を支える財源の確保のため、思い切った行事の削減などを検討し、長期財政の安定について努力します。
- 4) 新公益法人への移行に伴い、理事会効率化と権限委譲を含め、回数見直しと試行します。
- 5) 新事務所構想の検討を継続します。

### 3. 会員、協賛会員の拡大について

会員減少の歯止めは、各所属加盟団体との連携強化及び一層の諸施策に取り組みます。

- 1) ジュニア、中高年層への働きかけを強化します。
- 2) 協賛会員（企業）からの援助は大きな柱で、継続・拡大に努めます。
- 3) ハンディキャップや青少年育成事業等の資金を確保する為、各種補助金の活用及び賛助会員を募ります。
- 4) 昨年に引き続き、一部事業の公募を行ないます。

### 4. 会員サービスの向上

今年も会員登録を8月から開始し会員証をシーズン前にお届けできるようにいたします。各所属加盟団体のご協力をお願いします。

- 1) 県連行事参加申込みを「電子申込み（音声申込み含む）」の一元化に向けて、取り組みます。
- 2) ホームページやマスメディアでの情報公開、活用を積極的に進めます。
- 3) カレンダー委員会により、協会行事を踏まえ県連行事を整理し配慮します。

### 5. 普及振興事業の推進

- 1) 障がい者へのサポートを通して、一緒に滑る機会を実現させるよう取り組みます。
- 2) ジュニア事業は、指導員会及び所属加盟団体と連携をとりながら、子供たちの体験拡大をサポートしていきます。
- 3) 北海道行事は第32回目を迎えますが、研修会・養成講習参加者並びに県民スキー等を札幌スチを基本に時代のニーズに合わせ、北海道委員会で整理し参加者を募ります。

平成23年度 総務本部事業予定

No	行 事 名	期 日	会 場 (予定)
1	夏季評議員会 (第25回)	平成23年7月30日 (土)	県社会福祉会館
2	手続き要領説明会	平成23年9月03日 (土)	県社会福祉会館
3	拡大理事長会議	平成23年11月19日 (土)	川崎市教育文化会館
4	春季評議員会 (第26回)	平成24年5月26日 (土)	県社会福祉会館

## Ⅲ. 教育本部執行方針

スノースポーツの感動、楽しさ、満足感を会員はじめ多くの方々に味わってもらうことを基本方針として各事業に取り組んで参ります。

震災による被災地が一日も早く復興することをお祈りすると共に、節電等による事業運営の影響については社会動向を見ながら対応して参ります。

### 1. スキー事業運営

#### 1) 指導者研修会について（クリニック含む）

- ①SAJの指導者研修会テーマの伝達と以下の志向別研修会を開催し、有資格者の活性化に繋がります。
  - ・デモンストレータ講師による研修会をさらに充実させ、名称をエキスパート講習会からハイパー研修会に変更すると共に回数を増やして実施します。
  - ・競技会志向研修会として、北海道、鹿沢行事のポール研修会、車山4行事スキーフェスティバルのGS大会、湯沢2行事の平日マスターズレース研修会を開催します。
- ②指導者・クリニック理論の現地開催は参加者が減少しており、シーズン前に県内開催を増やし、雪上では滑走に重点をおきます。

#### 2) 準指導員・認定指導員検定会について

- ①養成理論、実技講習会は内容を充実させ、将来の指導者を養成して参ります。
- ②理論検定はシーズンオフに開催、実技検定会は土日開催を継続し、受検し易い環境づくりを進めて参ります。
- ③認定指導員養成は、地域活性化のため有効であり引き続き積極的に取り組みます。

#### 3) 強化と大会運営について

- ①SAJスキー技術選の決勝に残れる選手の強化と技術力向上に積極的に取り組みます。
- ②神奈川県・千葉県スキー連盟共催スキー技術選手権は、会場を戸隠に変更し、選手の底辺の拡大、安全性向上に取り組みます。
- ③環富士山技術選手権大会はスキー、スノーボード併設大会とし、様々なレベルの選手が楽しみながら参加できる大会として各県連と協力し運営して参ります。
- ④シニア層の強化、活性化のため湯沢2行事のマスターズレース、都連主催によるシニア技術選手権の参加選手を積極的に募集します。

### 2. スノーボード事業関連

- ①指導者研修会は、SAJより提案される新しい滑走技術を伝達し、指導者が現場において活用しやすいような内容を提案します。
- ②養成講習会は、SAJで再変更された実技検定種目を中心に伝達を図ります。
- ③認定指導員講習は、引き続き初心者、初級者に分かり易く技術伝達を図ります。
- ④技術強化においては、より実践を重視した内容を企画し、選手が各大会で高いパフォーマンスが出せるように技術力向上に取り組みます。

### 3. 事業運営の改善について

- ①電子申込は各事業へ適用拡大し、申込み処理の改善に努めます。
- ②「地球環境に優しい事業運営」の為、各事業運営中の禁煙/分煙、更に煙草の「ポイ捨て防止」などの協力を呼びかけて参ります。

### 4. 安全対策活動

- ①安全対策委員会の活動について県連として方向性の検討を進めて参ります。
- ②参加者の安全に配慮した事業の運営に各本部と共に積極的に取組みます。
- ③指導者の安全意識向上を図るため、理論や雪上での傷害防止の啓蒙活動を継続します。

### 5. 専門委員の活性化への取り組み

- ①専門委員研修会、技術選参加への呼びかけを行い、専門委員の技術力向上に努めます。
- ②専門委員数は規定数選出へ見直しの準備を進めます。

## IV. 競技本部執行方針

厳しい社会情勢の中においてスポーツの社会に与える影響は大きく、競技本部では選手強化は勿論、競技を通じて一人でも多くの人に感動を伝える為スノースポーツ普及発展に努め、社会問題でもある地球温暖化問題についても積極的に取り組むなど、以下3項目の方針を柱に取り組みます。

### 1. 選手強化

- 1) 一貫指導モデル事業を基盤に、ジュニア選手の普及育成を継続して取り組みます。
- 2) ジュニア選手のレベルの底上げを図るとともに、「スキータレントの育成」に取り組みます。
- 3) 県体育協会との連携強化等を含めジュニア育成の支援と環境整備に努めます。
- 4) 国民体育大会で県民の期待に添えるように選手の発掘、強化を継続していきます。

### 2. 事業運営と組織強化

- 1) 選手の安全を最優先した競技会運営に努めます。
- 2) 加盟団体の指導者との連携を強め、指導者育成を推進します。
- 3) 指導者の育成に向け組織強化を図り、安定した運営ができる体制作りを努めます。
- 4) ジュニア選手の保護者を対象とした競技本部サポーターシップの充実を図り、スムーズで安全な大会運営に努めます。
- 5) 神奈川県民の総力を結集した市町村対抗スキー競技会を目指します。
- 6) 教育本部とのコラボ行事を実施し、情報の交換と資質の向上を図ります。

### 3. 環境問題と健全な青少年の育成

- 1) 健全な青少年の育成について、スキーを通して社会生活の中でもスポーツマンシップを発揮できる選手の育成に努めます。
- 2) 地球温暖化問題について、公共交通機関の利用、車の相乗り等を推進し、県体協とも連携を取り積極的に進めて行きます。
- 3) エコ運動の一環として、リザルト等紙ベースの配布をやめ、携帯モバイルサービスを継続して実施します。